



平成26年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年12月3日

上場会社名 株式会社ストリーム
コード番号 3071

上場取引所 東証マザーズ

URL <http://www.stream-jp.com/>

代表者 (役職名)代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長

(氏名)劉 海涛

(氏名)土屋 敏

(TEL)03(6858)8189

四半期報告書提出予定日 平成25年12月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年1月期第3四半期の連結業績(平成25年2月1日~平成25年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年1月期第3四半期	11,327	35.8	187		185		163	
25年1月期第3四半期	17,647	34.6	520		528		612	

(注) 包括利益 26年1月期第3四半期 113百万円(%) 25年1月期第3四半期 606百万円(%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年1月期第3四半期	4,118 36	
25年1月期第3四半期	15,391 50	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年1月期第3四半期	3,352	442	12.9
25年1月期	3,034	554	17.9

(参考) 自己資本 26年1月期第3四半期 432百万円 25年1月期 543百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年1月期		0 00		0 00	0 00
26年1月期		0 00			
26年1月期(予想)				0 00	0 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年1月期の連結業績予想(平成25年2月1日~平成26年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,724	21.6	10		14		2		73 89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- 以外の会計方針の変更 : 無
- 会計上の見積りの変更 : 有
- 修正再表示 : 無

詳細は、【添付資料】5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年1月期3Q	42,750 株	25年1月期	42,750 株
期末自己株式数	26年1月期3Q	2,953 株	25年1月期	2,953 株
期中平均株式数(四半期累計)	26年1月期3Q	39,797 株	25年1月期3Q	39,797 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表の四半期レビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 対処すべき課題	4
(4) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成25年2月~10月)におけるわが国の経済は、政府の金融緩和策等の経済政策による円安、株高基調により輸出産業を中心に業績が穏やかに回復傾向を見せたものの、その反面、原材料等の輸入価格上昇による景気押し下げ懸念もあり、先行きの見通しは不透明な状況が続いております。

社団法人日本通信販売協会によると、平成24年度の通信販売の売上高は前年比6.3%増となり、14年連続で過去最高を更新したと発表がありました。これは、スマートフォンやタブレット端末の普及により、ネット通販の利用機会が増えたことも大きく、又、法人向け通販の市場拡大も成長に貢献したものであると思われま

す。当社が属する家電小売業界におきましては、市場環境、競合状況を含めまだ厳しい状況が予想されますが、大型テレビを中心に販売単価が回復し前年実績を上回るようになり、又、生活家電(冷蔵庫・洗濯機・エアコン)の販売も堅調に推移し、今後は家電業界全体の業績回復の兆しが期待出来るものと思われま

す。当社の業況につきましても、商品仕入改善強化により、取扱いアイテム数の増加等の効率的な販売施策の促進等が収益の回復要因となっております。

取扱商品の売上高動向としましては、前年同四半期比で家電(前年同四半期比45.5%減)、パソコン(前年同四半期比85.3%減)、周辺機器・デジタルカメラ(前年同四半期比18.7%減)と主要販売商品群の厳しい状況が続いております。その中で、掃除機(前年同四半期比9.4%増)、業務ソフト等(前年同四半期比49.2%増)、デジタルカメラ周辺機器(前年同四半期比62.5%増)、PC用ディスプレイ(前年同四半期比57.4%増)、国内メーカー腕時計(前年同四半期比9.3%増)等は堅調に推移いたしました。

費用面につきましては、売上減少に伴う物流費用や支払手数料の減少により前年同四半期比25.0%の減少となりました。

その結果、インターネット通販事業における売上高は9,948百万円(前年同四半期比39.0%減)、営業損失245百万円(前年同四半期は489百万円の営業損失)となりました。

インターネット通販事業の売上・来店客数推移

	売上高(百万円)	営業損益(百万円)	来客数(千人)	受注件数(千件)	会員数(千人)
当第3四半期連結累計期間	9,948	245	13,105	482	7,248
前第3四半期連結累計期間	16,295	489	19,273	741	6,691

(百万円)

	家電	パソコン	周辺/デジカメ	その他	合計
当第3四半期連結累計期間	4,515	258	2,917	2,256	9,948
前第3四半期連結累計期間	8,288	1,756	3,586	2,664	16,295

当該数値は、独立監査人による四半期レビューを受けておりません。

会員数は顧客情報を登録頂いている顧客数の累計です。

当第3四半期連結会計期間より、来客数は集客精度の向上を図るため集計方法を変更しております。同様に前第3四半期連結累計期間についても再集計をしております。

その他事業につきましては、自動車関連の塗料需要が増加傾向にあり前年同四半期比2.0%増となり、食品部門についてもトレハロース及びその他の商品添加剤も安定した受注があり前年同四半期比17.8%増となりました。太陽光関連の部材販売につきましては、欧州経済の不調が続き前年同四半期比38.9%減となりました。その結果、その他事業における売上高は1,379百万円（前年同四半期比2.1%増）、営業利益57百万円（前年同四半期は31百万円の営業損失）となりました。なお、当該事業における業績は、為替換算による影響を含んでおります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は11,327百万円（前年同四半期比35.8%減）、営業損失187百万円（前年同四半期は520百万円の営業損失）、経常損失185百万円（前年同四半期は528百万円の経常損失）となりました。また、出資金売却益118百万円を特別利益に計上するとともに、投資有価証券評価損21百万円、解約違約金29百万円及び過年度関税47百万円を特別損失に計上したこと等により、四半期純損失163百万円（前年同四半期は612百万円の四半期純損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ317百万円増加し、3,352百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金353百万円増加、商品275百万円増加、長期未収入金235百万円減少によるものであります。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ429百万円増加し、2,909百万円となりました。これは主に、買掛金855百万円増加、短期借入金241百万円減少、1年内返済予定の長期借入金71百万円減少、長期借入金67百万円減少によるものであります。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ112百万円減少し、442百万円となりました。これは主に、四半期純損失163百万円の計上によるものであります。

キャッシュ・フローの状況の分析

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ22百万円減少し、183百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において営業活動の結果増加した資金は、378百万円(前年同四半期は412百万円増加)となりました。収入の主な内訳は、仕入債務の増加額798百万円、長期未収入金の減少額235百万円であり、支出の主な内訳は、税金等調整前四半期純損失166百万円、売上債権の増加額246百万円、たな卸資産の増加額234百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において投資活動の結果増加した資金は、82百万円(前年同四半期は117百万円使用)となりました。収入の主な内訳は、出資金の売却による収入152百万円であり、支出の主な内訳は、無形固定資産の取得による支出66百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は、430百万円(前年同四半期は301百万円使用)となりました。支出の主な内訳は、短期借入金の純減額282百万円、長期借入金の返済による支出139百万円によるものであります。

(3) 対処すべき課題

当社グループは、当第3四半期連結累計期間において187百万円の営業損失を計上しており、前々連結会計年度において3百万円の営業損失、前連結会計年度においても1,054百万円の営業損失を計上しております。当該状況は、将来にわたって事業活動を継続するとの前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況と捉えております。

このような事象又は状況に対する具体的な取り組みについては、株式会社ヤマダ電機の子会社である株式会社ベスト電器からの商品仕入拡充による販売力強化や販売強化カテゴリの選別による事業リソースの集中と効率的運用、不採算商品の販売価格の見直しによる収益改善、ECサイトの充実(品揃え・サービス・利便性)を実施し、収益の確保を図ってまいります。

更に、役員報酬・人件費の削減、その他販売管理費の継続的な削減を行っており、また、財務基盤の強化と安定に向けた検討も進めております。

これらの対応策を実施することにより、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

(4) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点での通期業績予想は、平成25年8月29日付で開示いたしました「特別損益の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」に記載の業績予想から変更はありません。

なお、今後、業績予想の修正の必要性が生じた場合には速やかに開示する予定であります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第2四半期連結会計期間より、平成25年5月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	205,918	183,697
受取手形及び売掛金	521,715	874,909
商品	861,139	1,136,575
その他	92,541	152,428
貸倒引当金	7,647	6,549
流動資産合計	1,673,666	2,341,060
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,496	643
車両運搬具(純額)	11,253	9,112
工具、器具及び備品(純額)	67,633	45,531
有形固定資産合計	80,382	55,287
無形固定資産		
ソフトウェア	361,987	325,516
その他	10,428	13,756
無形固定資産合計	372,415	339,273
投資その他の資産		
投資有価証券	63,126	79,357
出資金	42,074	150
差入保証金	355,302	304,883
長期未収入金	572,906	337,695
その他	71,929	69,388
貸倒引当金	196,818	174,325
投資その他の資産合計	908,520	617,148
固定資産合計	1,361,318	1,011,709
資産合計	3,034,985	3,352,770
負債の部		
流動負債		
買掛金	897,594	1,752,719
短期借入金	898,468	657,052
1年内返済予定の長期借入金	185,000	113,500
未払金	128,712	132,566
未払法人税等	5,672	4,271
繰延税金負債	-	2,508
賞与引当金	5,413	6,036
ポイント引当金	2,347	418
その他	112,225	75,648
流動負債合計	2,235,433	2,744,723
固定負債		
長期借入金	67,700	-
繰延税金負債	5,598	10,352
その他	171,337	154,920
固定負債合計	244,635	165,272
負債合計	2,480,069	2,909,996

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年10月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	619,625	619,625
資本剰余金	559,625	559,625
利益剰余金	454,007	617,906
自己株式	182,230	182,230
株主資本合計	543,011	379,113
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,077	23,059
為替換算調整勘定	15,576	30,205
その他の包括利益累計額合計	499	53,265
新株予約権	5,842	7,379
少数株主持分	5,562	3,016
純資産合計	554,915	442,774
負債純資産合計	3,034,985	3,352,770

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年10月31日)
売上高	17,647,132	11,327,191
売上原価	16,061,548	9,935,325
売上総利益	1,585,584	1,391,865
販売費及び一般管理費	2,106,445	1,579,469
営業損失()	520,861	187,603
営業外収益		
受取利息	291	195
受取配当金	8,459	19,507
為替差益	-	10,433
投資有価証券売却益	18,871	-
その他	4,182	1,265
営業外収益合計	31,804	31,402
営業外費用		
支払利息	31,975	16,782
為替差損	7,091	-
租税公課	-	12,828
その他	229	-
営業外費用合計	39,296	29,610
経常損失()	528,353	185,812
特別利益		
固定資産売却益	-	492
出資金売却益	-	118,882
特別利益合計	-	119,374
特別損失		
投資有価証券評価損	355	21,474
減損損失	-	1,775
物流拠点移転費用	23,743	-
過年度決算訂正関連費用	61,335	-
課徴金	6,000	-
解約違約金	-	29,442
過年度関税	-	47,192
特別損失合計	91,434	99,884
税金等調整前四半期純損失()	619,787	166,322
法人税等	5,799	122
少数株主損益調整前四半期純損失()	613,988	166,444
少数株主損失()	1,452	2,546
四半期純損失()	612,535	163,898

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失()	613,988	166,444
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,169	38,137
為替換算調整勘定	21,139	14,628
その他の包括利益合計	7,969	52,765
四半期包括利益	606,018	113,679
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	604,566	111,132
少数株主に係る四半期包括利益	1,452	2,546

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失()	619,787	166,322
減価償却費	127,508	125,767
のれん償却額	50,203	-
減損損失	-	1,775
貸倒引当金の増減額(は減少)	394	23,591
賞与引当金の増減額(は減少)	6,880	52
ポイント引当金の増減額(は減少)	2,216	1,928
受取利息及び受取配当金	8,750	19,702
支払利息	31,975	16,782
為替差損益(は益)	-	4,339
固定資産除売却損益(は益)	-	492
出資金売却益	-	118,882
投資有価証券評価損益(は益)	-	21,474
解約違約金	-	29,442
売上債権の増減額(は増加)	469,844	246,963
たな卸資産の増減額(は増加)	551,236	234,715
仕入債務の増減額(は減少)	133,976	798,518
長期未収入金の増減額(は増加)	-	235,211
その他	78,020	41,226
小計	536,782	379,540
利息及び配当金の受取額	8,762	19,702
利息の支払額	32,043	16,767
法人税等の支払額	101,352	4,195
営業活動によるキャッシュ・フロー	412,149	378,279
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	6,029	1,456
有形固定資産の売却による収入	-	725
無形固定資産の取得による支出	87,610	66,932
投資有価証券の取得による支出	4,674	-
投資有価証券の売却による収入	41,971	-
出資金の売却による収入	-	152,709
差入保証金の差入による支出	75,258	643
その他	14,429	2,352
投資活動によるキャッシュ・フロー	117,171	82,048
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	92,387	282,918
長期借入金の返済による支出	139,200	139,200
社債の償還による支出	61,250	-
配当金の支払額	99	160
その他	8,193	8,408
財務活動によるキャッシュ・フロー	301,130	430,687
現金及び現金同等物に係る換算差額	747	51,861
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	5,404	22,220
現金及び現金同等物の期首残高	366,765	205,918
現金及び現金同等物の四半期末残高	361,361	183,697

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年2月1日 至 平成24年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額
	インターネット通販事業	その他事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	16,295,976	1,351,155	17,647,132		17,647,132
セグメント間の内部売上高又は振替高					
計	16,295,976	1,351,155	17,647,132		17,647,132
セグメント損失()	489,651	31,209	520,861		520,861

(注)セグメント損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失()と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年2月1日 至 平成25年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額
	インターネット通販事業	その他事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,948,118	1,379,072	11,327,191		11,327,191
セグメント間の内部売上高又は振替高					
計	9,948,118	1,379,072	11,327,191		11,327,191
セグメント利益又は損失()	245,550	57,946	187,603		187,603

(注)セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失()と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産に係る重要な減損損失はありません。また、のれん等に関する情報について該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間において、163,898千円の四半期純損失を計上したため、株主資本が前連結会計年度末に比べ同額減少し、379,113千円となりました。